

# 幕別スキー協会

## 1. スキー協会のあゆみ

昭和46年1月20日、幕別町スキー協会が発足して以来、スキーヤーの底辺拡大を目指して無料初心者スキー教室の開催、或いは、基礎スキー講習検定会等を開催して参りましたが、スキー人口の増大を図るには、優秀な指導者を多くつくることが大切であると考え、全日本スキー連盟公認指導員の蓑島 茂、笹原勝博、井沢政助等が中心となって、地元スキーヤーの中からの指導員養成に力を入れて参りました。

その結果、昭和56年、57年、59年にそれぞれ2名ずつの準指導員検定試験(比布)合格者を出し、スキー協会の指導スタッフも転入指導員を含めて13名となり、幕別町営明野ヶ丘スキー場に北海道スキー連盟公認のスキー学校を開設しようと、スキー協会の総会で決議され、早速、北海道スキー連盟に認定申請を行い、昭和60年1月から正式に幕別スキー学校として開校いたしました。

また、スキー学校の開校と合わせて、町営明野ヶ丘スキー場の整備計画により簡易リフトの設置と夜間照明施設の増加がなされました。

スキー学校発足当時の開校日は、1月から3月までの日曜・祭日(午前10時～午後3時)と毎週水・木曜日の夜間(午後7時～8時30分)でありましたが、初年度からシーズン生が134名入校(地元幕別はもとより、池田、豊頃、浦幌及び帯広から集まりました。)し、教師がフル出場するほど生徒が集まり、「親切・ていねい」をモットーに教師全員が一丸となって指導にあたりました。

幕別スキー学校も開校13年を迎え教師数も40名を超え、スキー協会・スキー教室より始まったスキースポーツの普及発展及び安全で快適なスキー指導の分野は、学校へと引き継がれ、協会・学校伴にその事業は軌道に乗り確立された時期を迎えつつあるものと確信致します。

### ◎スキー学校開校時の教師氏名(13名)

管理者	スキー協会会長	井沢 政助	教師	笹原 昌子
学校長	井沢 政助		〃	只野 龍彦
主任教師	笹原 勝博		〃	菅原 誠
指導部長	高橋 政雄		〃	岩野 真志
検定部長	笹原 重信		〃	古川 耕一
庶務部長	八代 芳雄		〃	高橋 則行
傷対部長	中川 泰徳		〃	渡辺 幹夫

### 歴代スキー協会役員氏名

任 期	会 長	副 会 長	理 事 長	事 務 局 長	庶 務	監 事
S 46～S 47	梅田 音市	馬淵 弘文	蓑島 茂 千葉 恵博	松山 雄三	西尾 治	岡本 光生 平井 弘幸
S 48～S 49	梅田 音市	牛尾 毅	小幡 泰彦	井沢 政助	西尾 治	岡本 光生 小林 浪子
S 50～S 51	牛尾 毅	蓑島 茂 山下 孝三	杉本 明光	井沢 政助	西尾 治	小川 義男 高橋 和義
任 期	会 長	副 会 長		事 務 局 長	庶 務	監 事
S 52～S 53	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 杉本 明光(アルペン部) 生出 忠夫(ノルデック部)		井沢 政助	西尾 治	小川 義男 逢坂 幸夫
S 54～S 55	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 笹原 勝博(アルペン部) 小川 義男(ノルデック部)		井沢 政助	高橋 政雄	安藤 哲次郎 逢坂 幸次
S 56～S 57	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 笹原 勝博(アルペン部) 小川 義男(ノルデック部)		井沢 政助	高橋 政雄	安藤 哲次郎 逢坂 幸次
S 58～S 59	井沢 政助	笹原 勝博(指導部) 藤本 光雄(アルペン部) 小川 義男(ノルデック部)		高橋 政雄	八代 芳雄	高橋 則行 逢坂 幸次
S 60～S 61	藤原 寿美	笹原 勝博(指導部) 藤本 光雄(アルペン部) 太田 政弘(ノルデック部)		高橋 政雄	古川 耕一	高橋 則行 井沢 政助
S 62～S 63	藤原 寿美	笹原 勝博(指導部) 藤本 光雄(アルペン部) 太田 政弘(ノルデック部)		高橋 政雄	坂井 康悦	高橋 則行 井沢 政助
H 元～H 2	藤原 寿美	水野 晃夫 高橋 則行 太田 政弘		高橋 政雄	坂井 康悦	井沢 政助 八代 芳雄
H 3～H 4	藤原 寿美	高橋 則行 笹原 勝博		坂井 康悦	北原 正喜	八代 芳雄 高橋 政雄
H 5～H 6	高橋 則行	笹原 勝博 蓑島 茂		坂井 康悦	北原 正喜	八代 芳雄 高橋 政雄
H 7～H 8	高橋 則行	笹原 勝博 蓑島 茂		坂井 康悦	北原 正喜	八代 芳雄 高橋 政雄



## 歴代幕別スキー学校役員氏名

	S 60～S 61	S 62～S 63	S 64～H 2	H 3～	H 4～H 5	H 6～H 7	H 8～H 9
管 理 者		藤原 寿美	藤原 寿美	藤原 寿美	藤原 寿美	高橋 則行	高橋 則行
校 長	井沢 政助	井沢 政助	井沢 政助	井沢 政助	井沢 政助	井沢 政助	井沢 政助
副 校 長			藁島 茂	藁島 茂 笹原 勝博	高橋 政雄 八代 芳雄	高橋 政雄 八代 芳雄	高橋 政雄 八代 芳雄
主 任 教 師	笹原 勝博	高橋 政雄 八代 芳雄	高橋 政雄 八代 芳雄	高橋 政雄 八代 芳雄	響 優 中川 泰徳 古川 耕一	郷 優 古川 耕一	郷 優 古川 耕一
監 事	高橋 則行	笹原 重信	笹原 重信	笹原 重信 長谷川 実	高橋 則行 長谷川 実	中川 泰徳 長谷川 実	中川 泰徳 長谷川 実
総務部長 総務副部長	八代 芳雄	古川 耕一	古川 耕一	古川 耕一 磯部 康志			
事務局 長 事務局 次長					磯部 康志 北原 正喜	磯部 康志 北原 正喜	磯部 康志 北原 正喜 妹尾 真
会 計					北原 正喜	岡田 直之	岡田 直之
指 導 部 長 指 導 副 部 長	高橋 政雄	中川 泰徳	中川 泰徳	中川 泰徳 矢野 進一	矢野 進一 坂井 康悦	矢野 進一 坂井 康悦	矢野 進一 坂井 康悦
広報宣伝部長 広報宣伝副部長		高橋 則行	高橋 則行	高橋 則行 坂井 康悦	稲上 豊彦 脇坂 信一	稲上 豊彦 脇坂 信一	稲上 豊彦 脇坂 信一
検 定 部 長 検 定 副 部 長	笹原 重信	岩野 真志	岩野 真志	郷 優 渡辺 義隆	渡辺 義隆 早川 一之	渡辺 義隆 早川 一之	渡辺 義隆 早川 一之
傷害対策部長 傷害対策副部長	中川 泰徳	菅原 真	高橋 一造	高橋 一造 稲上 豊彦	高橋 一造 郷 春樹	高橋 一造 郷 春樹	高橋 一造 郷 春樹

幕別スキー学校スタッフ



幕別スキー学校開校10年  
カナダツアー参加者  
(1884年3月)

### 幕別スキー学校教師氏名

氏名	資格	準指 取得年	指導員 取得年		
簗島 茂	指導員	S 49	S 52	札内あかしや町	更別村教育委員会
笹原 勝博	指導員	S 49	S 52	札内青葉町	札内東中学校
井沢 政助	指導員	S 50	S 53	旭町	幕別町役場
笹原 昌子	指導員	S 50	S 53	札内青葉町	
高橋 政雄	指導員	S 56	S 59	緑町	幕別町役場
八代 芳男	指導員	S 56	S 59	緑町	幕別町役場
宮川 広宣	指導員	S 56	S 59	札内桜町	帯広ホームインサル(株)
岩野 真志	指導員	S 56	S 59		教員
中川 泰徳	指導員	S 57	S 60	札内青葉町	幕別町農業共済組合
古川 耕一	指導員	S 57	S 60	字相川	幕別町役場
早川 一之	指導員	S 59	H 1	帯広市	森の里小学校
矢野 進一	指導員	S 60	S 63	字千住	農業
坂井 康悦	指導員	S 60	S 63	緑町	幕別町役場
渡辺 隆義	指導員	S 60	H 1	字相川	農業
郷 優	指導員	S 61	H 1	緑町	幕別町役場
郷 春樹	指導員	S 61	H 1	字新和	(株)サトウ
平船 正夫	指導員	S 61	H 2	浦幌町	浦幌消防署
吉田 裕明	指導員	S 61	H 2	浦幌町	浦幌町役場
磯部 康志	指導員	S 61	H 8	字相川	幕別町役場
高橋 一造	指導員	S 62	H 2	札内新北町	幕別消防署
前田 治紀	指導員	S 62	H 2	浦幌町	浦幌町役場
杉山 一哉	指導員	S 62	H 2	旭町	十勝信用組合
稲上 豊彦	指導員	S 63	H 2	緑町	幕別消防署
脇坂 信一	指導員	H 2	H 5	豊頃町	豊頃町役場
山中 明裕	指導員	H 3	H 8	士幌町	池田中学校
新川 寿雄	指導員	H 3	H 8	浦幌町	浦幌町役場
川嶋敬一郎	指導員	H 4	H 7	札内暁町	十勝道路(株)
北原 正喜	指導員	H 4	H 7	字明野	幕別町役場
小松 正直	指導員	H 5	H 8	緑町	利別小学校
岡田 直之	指導員	H 6	H 9	旭町	幕別町役場
渡辺 公平	指導員		H 2	帯広市	十勝中部農業改良普及センター
菅原 誠	準指導員	S 53		旭町	東十勝澱粉工場
高橋 則行	準指導員	S 59		宝町	高橋測量設計(株)
長谷川 実	準指導員	S 62		浦幌町	浦幌郵便局
川嶋 智子	準指導員	S 62		札内暁町	
小室 素子	準指導員	H 3		帯広市	帯広東小学校
大内田和美	準指導員	H 4		緑町	ミサワホーム
堀 裕子	準指導員	H 5		札内泉町	
妹尾 真	準指導員	H 8		錦町	幕別町役場
小島 師紀	準指導員	H 8		浦幌町	浦幌町役場
古村 俊大	準指導員	H 8		本別町	本別中学校
庄内 忠夫	準指導員	H 8		帯広市	北海カーピット(株)
森 淳一	準指導員	H 9		帯広市	十勝信用組合
背古 政代	準指導員	H 9		浦幌町	教員
高橋 義昭				錦町	自営



## 2. スキー協会事業

### (1)初心者スキー教室

毎年1月の上旬から中旬の土曜午後・日曜午前・午後の3単位、初心者を対象としたスキー教室を明野ヶ丘スキー場にて開催し、冬季スポーツへの取り掛かり、スキー人口の拡大を図っております。

初心時の指導は、特に重要であり、その人のスキーに対する将来までも左右するものであると考えており、スキースポーツの楽しさ、快適さ、爽快性、達成感などを体験させるものであり、また、初心者の上達は目ざましく、この教室よりスキーを始め上級スキーヤーに成長された方も少なくないと考えられる。

### (2)基礎スキー講習検定会

毎年2回、スキー学校と伴に級別テスト(1～5級)・ジュニアテスト(1～6級)を実施し、スキーヤー各自に目標を持っていただくと同時にスキーヤー全体のレベルアップにつながると考えております。

### (3)町民スキーツアー

昭和52年より実施しており、近年ではトマムスキー場等スケールの大きなスキー場へバスで出掛け、ツアーというスキーの楽しさを知ってもらうとともに、町内のスキーヤーの交流を図っている。また、ツアー午前中には、希望者を対象として指導員による教室を行っている。

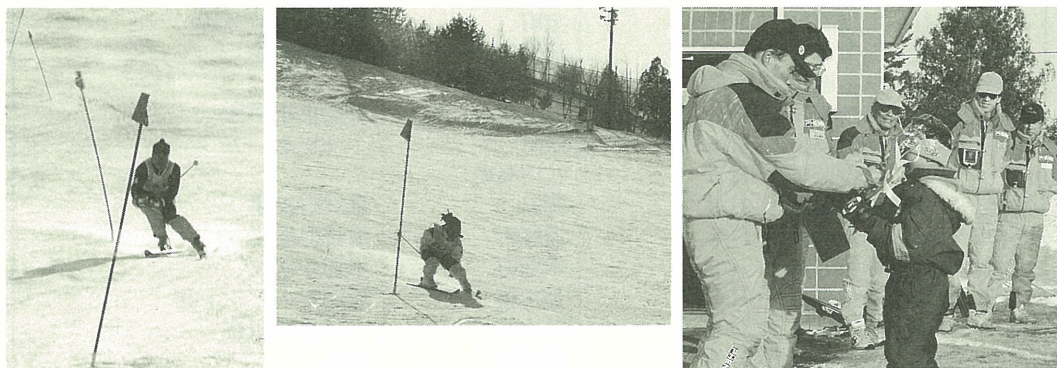
### (4)道民スポーツ大会選手派遣

道民スポーツ大会は、毎年、忠類村の白銀台スキー場で開催されており、札内南小学校スキー少年団等より多くの参加をいただき選手派遣を行っている。

近年では、平成8年にアルペン大回転壮年Aの部で大須賀 次郎選手(美川)が優勝に輝く等の成績を残しております。

### (5)町民スキー大会

町民スキー大会は、昭和54年から毎年開催しており、町内スキーヤーの交流を図っている。



町民スキー大会

#### (6) スキーパトロール

明野ヶ丘スキー場にパトロール員を配置し、スキー場内パトロール、ゲレンデ状況調査、整備を行っています。また、毎年1回パトロール員による研修会を実施し、パトロール員の技術の向上を図るとともに安全で快適なスキー場づくりに向けての討論がなされている。

#### (7) スキー少年団

競技スキーの分野において札内南小学校のスキー少年団において選手の育成・強化、各種競技会への参加が行われている。

### 3. スキー協会の展望

スキー協会が発足して25年、スキー学校も開校13年とその目的であります安全で楽しいスキーの普及、スキーヤーの底辺拡大、スキーヤー同志の交流、そして指導者の養成に努めてまいりました。

現在、スキースポーツは、性別、年齢層、階層を問わず多くの人々に親しまれている冬季スポーツであると同時に生涯スポーツでもある。

それゆえにスキーヤーのニーズも様々であり、スキーは単にスポーツとしての位置づけに止まらず多様性を秘めたものと考えられる。また、スキー用具自体、目的に合わせ変化してきており、さらには、スノーボード人口の増加などゲレンデスポーツとしてとらえるとスキー協会の役割は重要であると考えております。

今後においては、幕別スキーの拠点である町営あけのヶ丘スキー場を利用する方全てに快適であるよう引き続き整備要望するとともに、多数のスキーヤーが集う場・機会の提供、そして更なるスキーの普及・発展・安全管理に努めて行きたい。



幕別スキー協会現会長  
高橋 則行氏

